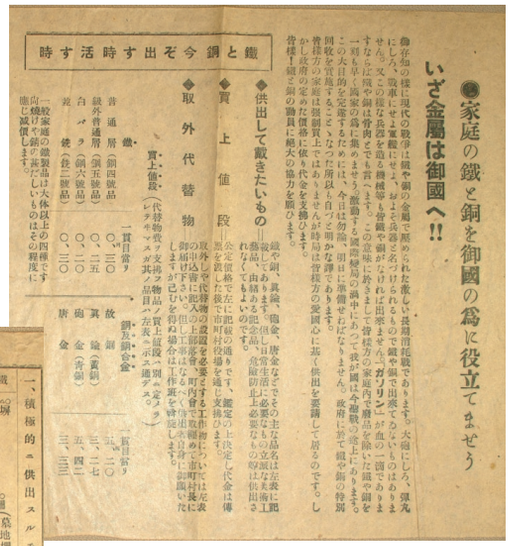
5-3-3　戦時下の人々

金属製品の供出



◉家庭の鐵と銅を御國の爲に役立てませう

いざ金屬は御國へ!!

時す活時す出ぞ今と銅と鐵

◆供出して戴きたいもの

◆買上値段

◆取外し代替物

＊土山家文書575「家庭の鉄と銅を御国のために役立てましょう」

一、積極的ニ供出スルモノ

二、成ルベク供出スルモノ

三、以上ノ外少シナリトモ又日用品等モ不要ノモノヤ余ッテ居ルモノハ是非供出シテ下サイ

解　説

戦争末期，金属の不足を補うために家庭から金属製品が供出されました。

写真は，山口県並びに財団法人戦時物資活用協会から出された，鉄や銅など家庭の金属製品の供出を呼びかけたチラシです。「家庭の鉄と銅を御国の為に役立てませう」「いざ金属は御国へ！！」「鉄と銅　今ぞ出す時，活す時」などの言葉が並んでいます。

表では，供出する金属製品の具体的な例として，積極的に供出するものと，なるべく供出するものとに分けて書かれています。戦争が進むにつれ，これらの金属製品が日常生活から消えていきました。

供出された金属は公定価格で買い取られ，市町村役場を通じて代金が支払われました。また，取り外しに費用がかかるものや代替物が必要なものについても，別途申し込めば手配を受けることができました。

＊「金属回収物件受領控書」（内田家文書（防府市）413），「金属回収物件受領書」（同414）は各戸から供出された金属の重量の集計表です。